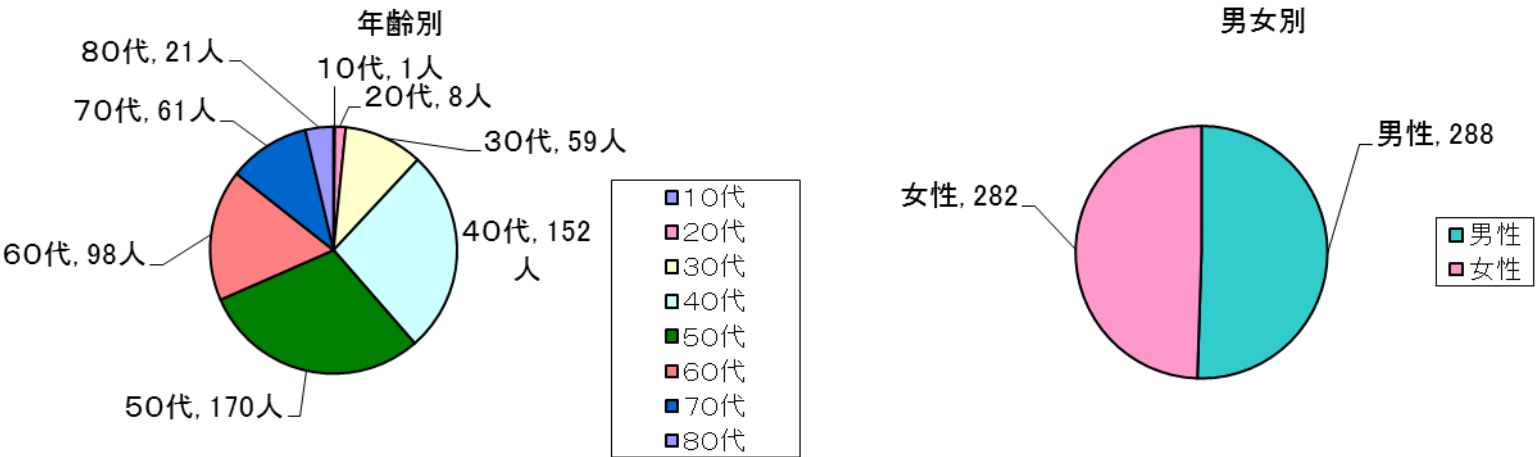


Uモニ アンケート集計結果

第133回のテーマは、【ゼロカーボンシティに関するアンケート】でした。

- ◎ 登録者数 1,101人
- ◎ 実施期間 令和3年9月3日(金)～9月9日(木)
- ◎ 回答者数(回答率) 570人(51.8%)



問1. 本市がゼロカーボンシティを表明したことをご存じですか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問1. 本市がゼロカーボンシティを表明したことをご存じですか。	1. 知っている	106	570	19%	
	2. 知らない	464		81%	

「知らない」と回答したモニターは81%であり、多くのモニターが知らないという結果となりました。

問2. 本市がゼロカーボンシティを表明したことを支持されますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問2. 本市がゼロカーボンシティを表明したことを支持されますか。	1. 支持する	400	570	70%	
	2. 支持しない	14		2%	
	3. どちらともいえない	156		27%	

「支持する」と回答したモニターが70%であり、多くのモニターが支持するとの結果となりました。一方、「支持しない」と回答したモニターは2%でした。

問3. 地球温暖化や気候変動による影響について心配することを教えてください。【複数選択可】

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問3. 地球温暖化や気候変動による影響について心配することを教えてください。【複数選択可】	1. 異常気象などによる災害の発生	518	570	91%	
	2. 海面の上昇	355		62%	
	3. 子どもや孫など次世代への影響	322		56%	
	4. 生態系への影響(生息域や個体数の減少、絶滅など)	368		65%	
	5. 農作物や水産業への影響	379		66%	
	6. 熱中症など健康への影響	267		47%	
	7. 特に心配はしていない	5		1%	
	8. わからない	5		1%	
	9. その他	8		1%	

近年頻発している「異常気象などによる災害の発生」が91%と最も多く、次に「農作物や水産業への影響」が66%、続いて「生態系への影響」が65%、「海面の上昇」が62%となりました。多くのモニターが地球温暖化や気候変動による影響について心配に感じていることがわかりました。

問4. ゼロカーボンシティの実現に向けて貢献したいと思いますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問4. ゼロカーボンシティの実現に向けて貢献したいと思いますか。	1. 積極的に貢献したい。	96	570	17%	
	2. 生活スタイルの変化や家計への負担があったとしても、出来る限り貢献したい。	90		16%	
	3. 身近に出来ることがあれば貢献したい。	345		61%	
	4. 必要性は理解しているが行動に移そうとは思わない。	10		2%	
	5. 行政や企業が行うべきであって、各家庭や個人が取り組むものではない。	9		2%	
	6. 興味がない	9		2%	
	7. その他	11		2%	

ゼロカーボンシティの実現に向けて「積極的に貢献したい」と回答したモニターが17%、「生活スタイルの変化や家計への負担があったとしても、出来る限り貢献したい」が16%、「身近に出来ることがあれば貢献したい」が61%となり、多くのモニターが貢献したいと思っていますことがわかりました。

問5. 本市では各家庭や職場などで出来る地球温暖化防止のための取り組みを「One more ECO」と題して推進を図っているところですが、地球温暖化防止のために取り組んでいることがあれば教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問5. 本市では各家庭や職場などで出来る地球温暖化防止のための取り組みを「One more ECO」と題して推進を図っているところですが、地球温暖化防止のために取り組んでいることがあれば教えてください。	1. こまめな消灯や電化製品の使い方を工夫して電気消費量を削減	390	570	68%	
	2. 環境にやさしい製品やLED照明、省エネ家電を購入	374		66%	
	3. 建物の断熱性や太陽光発電設備を設置するなど省エネ住宅に居住、またはリフォームを施工	82		14%	
	4. 移動時はなるべく徒歩・自転車・公共交通機関を利用	253		44%	
	5. 電気自動車などエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブを実践	78		14%	
	6. 地球温暖化対策に取り組む団体への加入や企業・個人への応援・支援	31		5%	
	7. プラスチック製品をなるべく購入・使用しないようにしている	129		23%	
	8. 特になし	44		8%	
	9. その他	9		2%	

「こまめな消灯や電化製品の使い方を工夫し電気消費量を削減」が68%で最も多く、続いて「環境にやさしい製品やLED証明、省エネ家電を購入」が66%、「移動時はなるべく徒歩・自転車・公共交通機関を利用」が44%でした。一方、「特になし」が8%で、多くのモニターが地球温暖化防止のための取り組みを行っていることがわかりました。

問6. ゼロカーボンシティの実現に向けて、効果的と思われる市の取り組みを2つまで教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問6. ゼロカーボンシティの実現に向けて、効果的と思われる市の取り組みを2つまで教えてください。	1. 家庭でできる取り組みを「広報うらやす」や市のホームページで紹介	313	570	55%	
	2. 地球温暖化の状況や影響に関する講座の実施や動画の配信	58		10%	
	3. 環境展などイベントの開催	34		6%	
	4. 電気自動車用充電スポットやシェアサイクル設備などのインフラ整備	206		36%	
	5. 個人や企業が行う取り組みへの支援(財政的支援含む)	120		21%	
	6. 他市町村の森林整備などによる二酸化炭素吸収量の取得	45		8%	
	7. 太陽光発電設備の設置などによる公共施設の脱炭素化の促進	199		35%	
	8. 特になし	23		4%	
	9. その他	11		2%	

「家庭でできる取り組みを「広報うらやす」や市のホームページで紹介」が55%で最も多く、続いて「電気自動車用充電スポットやシェアサイクル設備などのインフラ整備」が36%、「太陽光発電設備の設置などによる公共施設の脱炭素化の促進」が35%となりました。

問7. 小売電気事業者によっては、環境にやさしい再生可能エネルギー由来の電力を提供していますが、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えに対するお考えに最も近いものを教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問7. 小売電気事業者によっては、環境にやさしい再生可能エネルギー由来の電力を提供していますが、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えに対するお考えに最も近いものを教えてください。	1. 電気料金が多少上がったとしても切り替えたい	50	570	9%	
	2. 電気料金が変わらなければ切り替えたい	357		63%	
	3. すでに切り替えている	25		4%	
	4. 興味が無い	20		4%	
	5. わからない	100		18%	
	6. その他	18		3%	

「電気料金が多少上がったとしても切り替えたい」と回答したモニターが9%、「電気料金が変わらなければ切り替えたい」が63%となりました。多くのモニターが電気料金によっては再生可能エネルギー由来の電力に切り替える考えがあることがわかりました。

問7-2. 再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えたいきっかけを教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問7-2. 再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えたいきっかけを教えてください。	1. テレビCM、Web・新聞・雑誌広告など	5	25	20%	
	2. 家族や知人に勧められた	1		4%	
	3. 小売電気事業者からの案内	5		20%	
	4. 市のホームページや広報うらやずの記事	1		4%	
	5. もともと関心があった	11		44%	
	6. わからない	2		8%	
	7. その他	0		0%	

再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたいきっかけについて、問7で「すでに切り替えている」と回答したモニターのうち、「もともと関心があった」と回答したモニターが44%と最も多く、次に「テレビCM、Web・新聞・雑誌広告など」、「小売電気事業者からの案内」がそれぞれ20%となりました。

問8. 今後、電気自動車や燃料電池自動車（水素自動車）など次世代自動車への転換が加速していくことが予想されますが、購入にあたって重視することを2つまで教えてください。

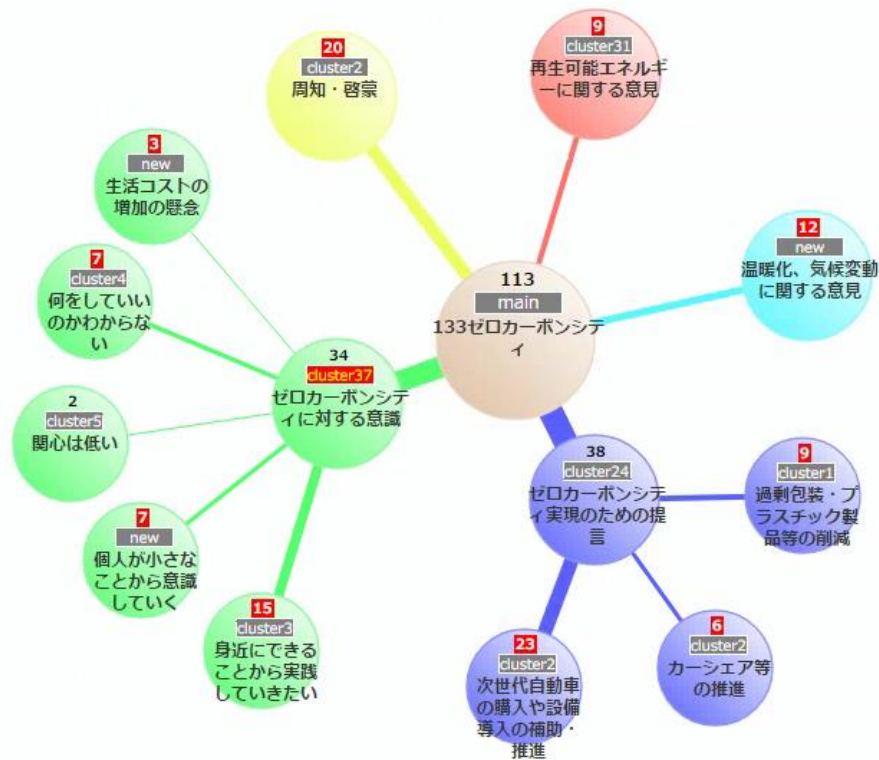
設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問8. 今後、電気自動車や燃料電池自動車（水素自動車）など次世代自動車への転換が加速していくことが予想されますが、購入にあたって重視することを2つまで教えてください。	1. 国や地方自治体の補助制度によって従来のガソリン車と同程度の価格で購入できる	259	570	45%	
	2. 身近なところに充電・充填設備が設置されている	332		58%	
	3. 自宅に充電設備を設置する際の補助制度がある（電気自動車の場合）	79		14%	
	4. 自動車性能（航続距離や充電時間など）の向上	118		21%	
	5. 自分の好みに合った車種が販売される	47		8%	
	6. すでに購入している	4		1%	
	7. 購入したいとは思わない	17		3%	
	8. 車を保有する予定がない	106		19%	
	9. その他	11		2%	

電気自動車や燃料電池自動車（水素自動車）などの次世代自動車の購入にあたって重視することとして、「身近なところに充電・充填設備が設置されている」が58%で最も多く、次に「国や地方自治体の補助制度によって従来のガソリン車と同程度の価格で購入できる」が45%となりました。一方で、「車を保有する予定がない」と回答したモニターが19%と一定数いることがわかりました。

問9. ゼロカーボンシティの実現に向けて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問9. ゼロカーボンシティの実現に向けて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。	回答あり	188	188	33%	

ゼロカーボンシティの実現に向けたご意見は、570人中188人（33%）のモニターからいただきました。



ゼロカーボンシティの実現に向けて、「次世代自動車の購入補助や充電設備などの整備の推進が必要」とするご意見が多く寄せられました。また、個人としては「できることから1つずつ実践していきたい」などの意見が見られました。

一方で「何をしてもいいかわからない」「もっとゼロカーボンシティについて、周知・広報してほしい」といった意見もありました。

まとめ

本市のゼロカーボンシティの表明に対する認知度は低い結果となりましたが、多くのモニターより表明に対して支持するとの回答をいただきました。また、多くの方が地球温暖化や気候変動による影響について心配に感じており、その中で個々にできる地球温暖化防止に向けた取り組みを実践されていることがわかりました。

いただいたご意見を参考とさせていただき、今後のゼロカーボンシティの実現に向けた施策を検討していきます。

今後も、「Uモニ」へのご協力をお願いします。